

利尻島におけるベニバト *Streptopelia tranquebarica* の観察記録

小杉和樹

〒 097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字富士見町

Observation Records of Red Turtle Dove from Rishiri Island, Northern Hokkaido

Kazuki Kosugi

Fujimi-cho, Kutsugata, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

Abstract. A Red Turtle Dove, *Streptopelia tranquebarica* was observed at the Porofunbe, northwestern area of Rishiri Island, northern Hokkaido on September 8, 2012. This is the second record of the species from Rishiri Island.

ベニバト *Streptopelia tranquebarica* は、チベット、中国、台湾、ミャンマー、タイ、インドネシア、フィリピンなどの狭い地域に分布するハト科の一種であり、基本的に渡りはしないが、北方に生息するものは冬期間稀に暖かな地域に移動する（日本鳥類目録編集委員会，2000）。日本には数少ない旅鳥や冬鳥として渡来し、本州中部以西の各地で記録され、九州や南西諸島では毎年記録されている（真木，2000）。

筆者は、1987年11月11日に利尻町杓形の見返台園地に向かう町道の標高140m付近で本種の雄1羽が採餌するのを観察したが、その時は写真撮影が出来ず、簡易な観察報告をしているのみであった（小杉，1988）。しかし、この観察記録は利尻島並びに北海道では、初めての観察記録であった（藤巻，2010）。今回、25年振りに利尻島でベニバトを再び確認したので報告する。

2012年9月8日午後2時頃、利尻島の北西部ポロフンベの海岸沿いを通る町道脇のシロヨモギが生える地面から、この時季には見慣れない茶色の鳥が飛び立ち、近くの岩に後ろ向きで止まったのを双眼鏡で確認したが、直ぐに飛んでしまった。

身体のサイズやコントラストから、イソヒヨドリ

Monticola solitarius とも思ったが、尾羽の先端と外側が白く見えたのと飛翔はハトのものであった。その後、やや遠くの電線に止まり、頭部が灰色でその他の部分は、やや赤みを帯びた茶色なのが確認でき、これらを総合してみると、ハトの仲間サイズと色からするとベニバトのようであった。近づいて観察しようとしたが、同じように電線に止まるキジバト *Streptopelia orientalis* とともに飛び立ち、南方に飛んだのを追いかけたが、見失ってしまった。

翌9月9日午前9時頃から前日の場所を何度も探したが見つからず、杓形までの海岸線沿いの道路



Figure 1. *Streptopelia tranquebarica* observed on September 9, 2012.

脇や 1987 年の時に観察した見返台車道線も探したが、見つからなかった。その後、一旦探索を中止し、午後 1 時から再度ポロフンベの海岸に行き、前日に観察した付近まで行くと、地上で採餌するその鳥がいて、双眼鏡で観察することができ、ベニバトであることを確認した。

本種の雄は、背と翼上面が赤みのある紫褐色で、ハト科の中では他に似た羽色の種はなく、雌雄も明らかな違いがあることから、今回観察されたのはベニバトの雄で、大雨覆いの先端部が汚白色であることから、若鳥であった。

なお、利尻島で観察される一月半程前の 7 月 30 日に、天売島で初めてベニバトが観察された（2012 年 8 月 14 日付け北海道新聞）が、天売島で記録された個体は雄の成鳥であり、同時期に複数の個体が北海道北部の島嶼に飛来したということと、どちらも観察時期が春秋の渡り時期ではなく、夏期であっ

たことは特筆すべきことである。本種の南側分布域の一部がキジバトの分布域と重なっているので、北上するキジバト群と行動を共にして、北海道北部にやってきたまま夏を過ごしたことも推測される。

本種は、その後、9 月 10 日まで同場所で観察された。

参考文献

- 藤巻裕蔵, 2010. 北海道鳥類目録改訂 3 版. 帯広畜産大学野生動物管理学研究室. 74pp.
- 小杉和樹, 1988. 利尻島の鳥. 利尻研究, (7): 45-54.
- 日本鳥類目録編集委員会, 2000. 日本鳥類目録. 改訂第 6 版. 日本鳥学会. 京都. 345pp.
- 真木広造・大西敏一, 2000. 日本の野鳥 590. 平凡社. 654pp.